



双塔

カトリック新潟教会

2019年10月
No. 377

海 の 星

主任司祭 ラウール・バラデス

10月、ロザリオの月にあたって、聖ベルナルドの説教を紹介させていただきます。この一部ではマリアのことを海の星にたとえて語ります。救い主イエスへの道を示すマリアはカナの婚宴のときも今も「何でもイエスの言うとおりにしてください」と言いつづけます。

おお、この世の流れのうちでは、地上を歩くよりは、むしろ大風か嵐の中で波の上を運ばれる自分を知るあなたのだれも、もし嵐で押しつぶされることを欲しないなら、この星のきらめきから目を離しなされるな。もし誘惑の風がおこるなら、もしあなたが苦難の岩にぶつかるなら、星を注目し、マリア様を呼びなさい。もし傲慢の、野心の、そしりの、争いの波によってもてあそばされるなら、星を注目し、マリア様を呼びなさい。もし短気あるいは貧欲、あるいは肉の誘惑が心の小舟を揺り動かすなら、マリア様を注目しなさい。もしあなたが犯罪のぼく大さによって悩まされ、良心の醜さによって恥じいって、審判の恐ろしさで打ちくだかれ、悲しみの深淵、失望の奈落にのみ込まれそうになったら、マリア様のことをお考えなさい。危険において、わざわいにおいて、頼りにならないものごとにおいて、マリア様のことをお考えなさい。マリア様を呼びなさい。〔そのみ名があなたの〕口から離れることのないように、心から離れることのないように。そしてその祈りの御助けをあなたがいただくために、生活の模範からあなたが離れることのないように。彼女に従い奉るなら、あなたは道はずさず、彼女にお願いするなら、あなたは失望することはありません。彼女のことを考え奉るなら、あなたは迷いはしないのです。彼女が〔あなたを〕支えたもうなら、あなたは倒れることはない、彼女が守りたもうなら、あなたは恐れることはない、彼女が導きたもうなら、あなたは疲れさせられない、彼女が好意を示したもうなら、あなたは〔目的地に〕到着するのです。

クレーヴォーの聖ベルナルド著作選集、野村良雄訳、中央出版社（昭和39年11月10日）73-74頁